

EVから電気を取り出すってどういうこと？

～日産のEVを体験してみよう～

主催：日産自動車株式会社



日産は電気自動車（EV）のパイオニアでありリーディングカンパニーの使命として、EV活用により社会課題を解決するために、2018年から「ブルー・スイッチ」と命名し、活動をスタートしました。「環境」、「災害対策」、「エネルギーマネジメント」、「地方での交通課題」、「観光の活性化」といった5つの地域課題の解決を目指しています。全国の自治体や企業・団体など、さまざまなパートナーと共に取り組んだ件数は、活動開始からこれまでに260件を越えています。

今回、法政大学では、日産の協力のもと、日産のEVをキャンパス内に展示します！当日はEVから取り出した電気で作ったポップコーンやコーヒーなどの配布も予定しています！

EVを身近に感じ、EVの活用について考えるきっかけとして、ぜひお気軽にお立ち寄りください！詳細は以下をご覧ください。

日時

2024年11月25日（月）
11：00～15：00【予定】



会場

市ヶ谷キャンパス 大内山校舎前広場

概要

当日は「アリア」と「サクラ」の2台を展示！



申込
不要

EVの電気を取り出して作ったポップコーンやコーヒーなどの配布も予定しています！
ぜひお気軽にお立ち寄りください！

問い合わせ：法政大学SDGs+（プラス）推進特設部会
kyogaku@hosei.ac.jp